

ブロックエディタ（Gutenberg）クラシック編のマニュアル

クラシックとは

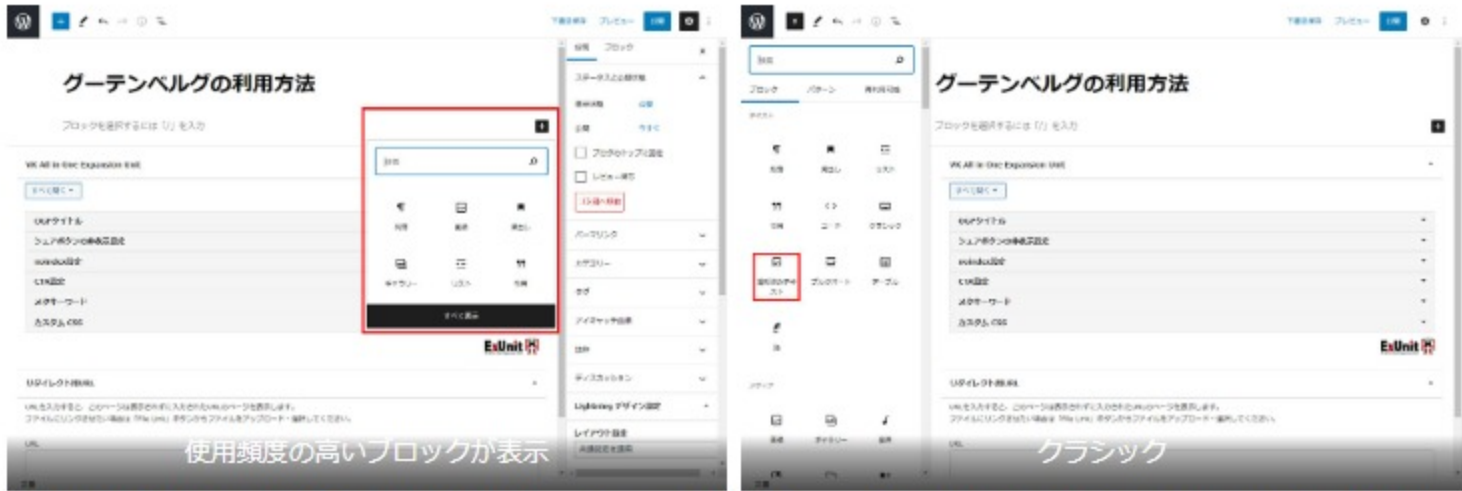
クラシックとは、従来の WordPress エディターを使用できるツールです。

おすすめ度



図解による使い方マニュアル

STEP 1 挿入



ブロックの挿入は+アイコンをクリックしてブロックを挿入。赤枠の中から「クラシック」を選択。従来のエディタクラシックエディタを呼び出すブロックです。

STEP 2 設定(操作)



従来のクラシックエディタ

選択アイコン



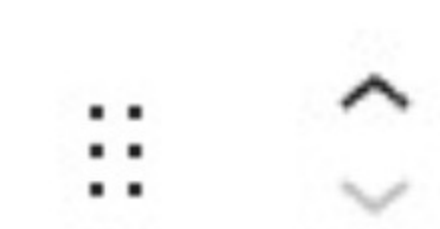
設定方法は右側のサイドバーに表示されます。
※もし表示されてない場合は画面右上のギアのマークをクリックすると表示されます。
※テーマにより設定画面の内容が異なります。

設定画面の設定内容

非表示設定：画面サイズにより設定を表示もしくは未表示の設定が可能

挿入するブロックを間違えた場合は、他のブロックに変更できる。があまり選択肢の幅はない。よく使うブロックに限られる。その為このブロックを削除して改めて選択し直す必要があります。

移動アイコン



ドラッグして指定場所に移動が出来ます。（左図）
上下に1か所づつ移動できます。（右図）

ブロックへ変換



クラシックエディタからブロックエディタに戻る

ブロック編集



設定できる内容

コピー：ブロックのコピー。段落挿入後張り付けるとコピーされる。
複製：ブロックの複製。同じ内容が複製（コピペ）でき上段の作業を1回で行えるメリットがあります。

前に挿入：現在のブロックの前に新たなボックスを挿入することが出来ます。

後に挿入：現在のブロックの後に新たなボックスを挿入することが出来ます。

移動：ブロックの移動

HTMLとして編集

再利用ブロックに追加：該当ブロックを登録して再利用が行えるように登録する。※テーマプラグインにより表示されない場合がある。

グループ化：複数のブロックをまとめる事が出来る。

ブロックを削除

まとめ

このクラシックはあえて使用する必要はないと思いますが、どうしても従来のエディターが使い勝手が良い場合は利用する価値があると考えています。